

平成 28 年 1 月 22 日

鹿児島大学病院 皮膚科で

乾癬、掌蹠膿疱症、角層下膿疱症、ベーチェット病、スウィート病、
壊疽性膿皮症、隆起性持久性紅斑、血管炎症候群、脂漏性皮膚炎、ア
トピー性皮膚炎、接触皮膚炎、貨幣状皮膚炎、慢性湿疹、紅斑症の治

療を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院皮膚科では、以下の臨床研究を実施しております。
この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究
です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とす
る医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公
開することが必要とされております。この研究について詳しくお知り
になりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い
合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

「炎症性皮膚疾患における好中球機能の解析とその病態解明」

【研究機関】

鹿児島大学病院 感覚器病センター 皮膚科

【研究責任者】

東 裕子（皮膚科・講師）

【研究の目的】

炎症性皮膚疾患には無菌性に活性化された好中球が皮膚に浸潤し

てくる疾患があり、それらは、免疫機構の異常がその原因と考えられていますが、いまだその病態は不明です。炎症性皮膚疾患に関わる好中球の機能を明らかにするとともに炎症性皮膚疾患の病態を解明することを目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成12年1月1日から平成27年11月30日までに当院皮膚科で、乾癬、掌蹠膿疱症、角層下膿疱症、ベーチェット病、スウィート病、壊疽性膿皮症、隆起性持久性紅斑、血管炎症候群、脂漏性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、貨幣状皮膚炎、慢性湿疹、紅斑症の治療を受けた患者さん

●診療録（カルテ）から利用する情報

診療録から以下の情報を利用します。

年齢、性別、病歴、病変の部位、基礎疾患、採血結果（白血球数、白血球分画、赤血球数、Hb、Ht、血小板数、血沈、総蛋白、アルブミン、AST、ALT、LDH、ALP、 γ GT、ChE、T-Bil、D-Bil、BUN、Cr、Na、K、Cl、Ca、CK、IgG、IgA、IgM、IgE、CRP）、病理結果、治療、経過

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野の研究費で実施します。企業等からこの研究のための寄付は受け

ていませので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 感覚器センター 皮膚科

講師 東 裕子

電話 099-275-5850 FAX 099-275-5850